

## 大崎、車体が全勝を守る

### ～第37回日本ハンドボールリーグ・第5週～

第37回日本ハンドボール・第5週は9月29、30日に男子4試合、女子1試合が行われ、大崎電気が北陸電力、トヨタ車体は豊田合成を破り、開幕からの連勝を5と伸ばした。そのほか湧永製薬が大同特殊鋼を下して上位に踏みとどまり、琉球コラソンもトヨタ自動車東日本に快勝、女子はソニーセミコンダクタがHC名古屋に順当勝ちした。

福井での北電-大崎は、両者ともミスが目立つ立ち上がりから、内田の連打で流れを引き寄せた大崎が攻撃的なディフェンスで相手にプレッシャーをかけ、速攻などで加点して20分12-6と優位に立った。北電も山原のサイドシュート、小川の倒れ込みシュートで追い上げを図るが、大崎GK・浦和のファインセーブにチャンスを阻まれて反撃ムードに水を差され、17-12と大崎5点リードで前半終了。後半も大崎が信太のカットインなどで終始先行、神田らで追撃する北電に対し、宮崎がドリブルでの4人抜きシュート、東長濱のスカイプレーなど鮮やかな攻撃で22分33-20と点差を広げて試合を決めた。

福岡での合成-車体は、桶谷の得点で合成が先制。その後、一進一退の攻防が続くが、12分過ぎから車体が優勢に転じ、13分には10-5と引き離す。合成はタイムアウトを取って立て直しを図るが、車体は光増のカットインや崎前のサイドシュートなど多彩な攻撃で優位をキープして18-14と4点リードで前半を折り返した。後半出だし、大橋らで食い下がる合成だったが、車体は渡部の連続得点により8点差と水をあける。中盤、車体が2人退場するチャンスに合成は今村の得点で反撃に出るが、車体の堅いディフェンスの前に点差を詰めることができず、37-30で車体が開幕5連勝を飾った。

愛知での大同-湧永は、湧永が古家、樋口を中心としたボール回しからセットオフenseで着実に得点を重ね、前半12分9-5とリードを奪った。その後は谷村のロングシュートで湧永が加点すれば、大同もクイックスタートから山城のサイドシュートなどで応戦して一進一退の展開となり、湧永が17-13で前半を折り返した。後半立ち上がり、大同は末松の連続得点で2点差とし、さらに高い位置からプレッシャーをかけるディフェンスで追撃を狙う。しかし、ここから試合のペースをつかんだのは湧永。谷村に当たりが出てくると、志水、松村の両GKが要所で7mスローをシャットアウト、さらに佐藤の巧打などでじわりじわりと点差を広げて21分30-21とし、その後も落ち着いた試合運びでがっちり勝利をたぐり寄せた。

次週は岐阜国体をはさんで福井などで男子4試合、女子2試合が行われ、大崎が湧永、車体は琉球の挑戦を受ける。全勝で首位を並走する両チームの戦いぶりが見もの。湧永、琉球も好調なだけに好ゲームになりそう。女子は広島メイプルレッズ-北國銀行の2位争いに注目が集まる。



④開幕5連勝の大崎電気・信太  
⑤上位に踏みとどまった湧永製薬・樋口

### 第6週の日程

10月13日(土)	福井	北陸電力福井体育館フレア(えちぜん鉄道観音町駅徒歩5分)	14:00~	(男)	北 陸 電 力 × トヨタ自動車東日本
	広島	中区スポーツセンター(広電広電本社前駅徒歩3分)	13:00~	(女)	広島メイプルレッズ × 北 國 銀 行
			15:00~	(男)	湧 永 製 薬 × 大 崎 電 気
	佐賀	トヨタ紡織九州クレインアリーナ(JR長崎本線神埼駅車10分)	15:00~	(男)	トヨタ紡織九州 × 豊 田 合 成
10月14日(日)	熊本	山鹿市鹿本体育館(九州産交バス「鹿本総合支所前」下車徒歩10分)	14:00~	(女)	オ ム ロ ン × 三重バイオレットアイリス
	沖縄	沖縄県立武道館(沖縄都市モノレール奥武山公園駅徒歩5分)	16:00~	(男)	琉 球 コ ラ ソ ン × ト ヨ タ 車 体



⑤琉球コラソン・村山  
⑥ソニーセミコンダクタ・高橋

琉球、ソニーが2勝目をマーク

東京でのトヨタ自動車東日本-琉球コラソンは、上野のミドルシュートで東日本が先制。その後は一進一退の展開となったが、10分過ぎからは琉球のディフェンスがよく機能し、東日本はそこから10分間、琉球ディフェンスを破ることができずにノーゴール。終盤、琉球は退場者を2人出すが、東日本はそのチャンスも活かせず、16-8の琉球リードで折り返した。後半になっても流れは変わらず、東日本は琉球の高いディフェンスを攻めあぐみ、なかなかクリーンなシュートにたどりつけなかった。一方の琉球は攻守ともよく足が動いて終始東日本を圧倒、大量14得点をマークした村山の活躍もあって2勝目をマークした。

愛知での女子・HC名古屋-ソニーセミコンダクタは、開始29秒、田中の速攻で先制したソニーが4連続得点で4-0とし、立ち上がりの攻防を制した。対する名古屋は阪本のポストシュートでこの日の初得点をあげて追撃を図り、その後、9分過ぎまで3-6と粘り強く食らいついていく。しかし、10分を過ぎて攻撃にリズムが出てきたソニーが石井、錦織のシュートで着実に加点、一気に6連取で12-3とすると、そのまま勢いをキープして18-10の8点リードで前半を終えた。後半、追いかける名古屋は福井のロングで得点し、好スタートを切る。しかし、ソニーはダブルポストからボール回しを展開する名古屋のセットオフenseをきっちり抑えると、素早い速攻、力強いロングなどで10連続得点、21分には28-11として試合を決めた。名古屋はGK家城の奮戦はあったものの、初勝利は遠かった。

◆ 9月29日(土) 男子 東京・墨田区総合体育館	◆ 9月29日(土) 男子 福井・北陸電力福井体育館フレア
琉球コラソン 37 (16-8) 18 2勝1分3敗	大崎電気 38 (17-12) 24 5勝0分0敗
トヨタ自動車東日本 0勝0分5敗	北陸電力 1勝0分5敗
14/17 村山 永瀬 K 2/2 6/9 東長濱 郷古 0/0 1/4 水野矢 遠山 0/1 3/4 積河 内河 0/0 4/8 榎本 斉藤 1/3 <0/1> K 内田 吉田 0/1 1/1 名嘉 佐藤 4/5 1/4 内山 関口 K <0/2> 2/2 連桑 名 0/0 <0/1> 0/1 石田 佐藤文 3/7 3/5 水野紀 野間 2/4 上野 3/8 1/1	<0/1> K 浦和 神田 1/2 1/1 染谷 田切 10/13 3/6 豊田 桜井 1/3 4/8 宮崎 前山 0/0 2/4 3/6 東長濱 杉山 1/4 1/1 永島 落合 3/6 6/7 小室 小川 2/3 2/2 馬場 廣瀬 K <2/4> <2/3> K 東山 原 3/6 1/3 森 瀬戸 0/0 1/3 岩永 田宮 0/0 3/3 内田 川添 K 5/7 猪妻 赤塚 1/6 2/4 2/3 石川 佐々木 0/0 2/3 時村 有江 K 2/5 信太 櫛田 0/0
2/2 35/55 11(FPP)13 16/37 2/2	2/4 36/58 7(FPP)7 22/43 2/4
シュート阻止率 0.500 1/2 内田 永瀬 0/0 0.000 0.531 17/32 石田 関口 12/47 0.255	0.357 10/28 浦和 廣瀬 10/37 0.270 0.333 2/6 東 有江 2/11 0.182
0.529 18/34 (GK) 12/47 0.255 審判(黒木秀・黒木龍) 観客 431人	0.353 12/34 (GK) 12/48 0.250 審判(油上・中村) 観客 544人

◆ 9月29日(土) 女子 愛知・中村スポーツセンター	◆ 9月29日(土) 男子 愛知・中村スポーツセンター	◆ 9月30日(日) 男子 福岡・福岡県スポーツ科学情報センター(アクション福岡)
ソニーセミコンダクタ 29 (18-10) 17 2勝0分3敗	湧永製薬 32 (17-13) 27 4勝0分1敗	トヨタ車体 37 (18-14) 30 5勝0分0敗
HC名古屋 0勝0分5敗	大同特殊鋼 2勝1分3敗	豊田合成 1勝1分3敗
3/3 4/10 山野 近藤 K <0/4> 0/4 高田 伊藤 0/1 1/3 高橋 池田 0/1 3/5 田中 福井 3/15 2/2 山田 高橋 0/2 1/1 儀高 鈴木 2/7 1/1 古川 細田 3/3 1/2 0/0 川崎 阪本 4/5 0/0 黒飛 藤上 野 0/0 4/6 石井 家山 K <0/2> 0/0 鎌南 横井 1/4 <1/2> K 南 横井 1/1 1/1 5/6 錦織 田邊 1/1 1/1 1/1 藤井 塚 1/1 2/3 内富 金 1/3	<1/3> K 志水 田中 K 9/12 谷村 棚原 1/3 1/1 1/3 木村 野村 2/5 1/2 1/1 坂本 末松 7/10 1/2 成田 浦田 0/0 0/0 東江 地引 4/4 0/1 7/9 佐藤 武田 3/8 1/1 4/8 樋口 岸川 3/3 2/4 新久 保 K <0/1> 2/4 仁平 加藤 2/5 1/1 今井 千々波 0/0 <1/1> K 松村 山城 3/8 2/6 古家 東 K 1/3 中浦 下村 0/0 0/0 新名 伊藤 0/0 上 原 0/0	<1/1> K 木下 榊原 0/0 7/9 石戸 野原 2/3 1/1 0/0 高野 野田 3/7 1/2 1/2 横地 黒木 0/0 2/5 藤本 大橋 2/5 5/6 藤田 桶谷 3/5 0/0 高木 湯脇 0/0 2/4 木切 倉中 9/13 0/0 津屋 長島 1/2 4/6 富田 加藤 0/0 5/8 光増 藤村 K <0/1> <0/1> K 坪根 今村 4/12 1/2 香川 中村 3/5 3/5 崎前 芳仲 1/4 2/2 5/7 渡部 藤本 K <0/1> <0/1> K 甲斐 米堂 0/0
6/6 23/42 2(FPP)18 16/43 1/2	1/1 31/53 11(FPP)3 25/46 2/4	2/2 35/54 9(FPP)16 28/56 2/3
0.714 10/14 飛田 近藤 8/28 0.286 0.429 9/21 南 家城 6/9 0.667 戸塚 0/0 0.000	0.324 12/37 志水 田中 6/14 0.429 0.000 0/0 松村 久保 3/17 0.176 東 4/13 0.308	0.429 3/7 木下 藤田 2/11 0.182 0.000 0/5 坪根 藤堂 9/35 0.257 0.345 10/29 甲斐
0.543 19/35 (GK) 14/37 0.378 審判(仲野・藤坂) 観客 473人	0.324 12/37 (GK) 13/44 0.295 審判(池淵・檜崎) 観客 823人	0.317 13/41 (GK) 11/46 0.239 審判(亀井・堀川) 観客 1123人

# 男女個人ランキング 第5週終了現在

## 《男子》

## 《女子》

### 得点王

1 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	42点	(6試合)	1 高山 智恵 (メイプルレッズ)	32点	(4試合)
2 村山 裕次 (琉球コラソン)	36点	(6試合)	2 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	28点	(5試合)
2 赤塚 孝治 (北陸電力)	36点	(6試合)	3 藤井 紫緒 (オムロン)	27点	(4試合)
4 渡部 仁 (トヨタ車体)	32点	(5試合)	4 上町 史織 (北國銀行)	24点	(4試合)
4 中島 晋太郎 (豊田合成)	32点	(5試合)	5 八十島 智美 (北國銀行)	22点	(4試合)
4 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	32点	(5試合)	6 錦 織 新 (ソニーセミコンダクタ)	21点	(5試合)
7 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	31点	(5試合)	6 新城 明奈 (メイプルレッズ)	21点	(4試合)
8 野村 喜亮 (大同特殊鋼)	27点	(6試合)	8 石井 宏実 (ソニーセミコンダクタ)	20点	(5試合)
8 宮崎 大輔 (大崎電気)	27点	(5試合)	9 田中 美音子 (ソニーセミコンダクタ)	18点	(5試合)
10 切越 巧也 (北陸電力)	26点	(6試合)	10 勝連 智恵 (オムロン)	17点	(4試合)
11 武田 享 (大同特殊鋼)	25点	(6試合)	11 横嶋 かおる (北國銀行)	16点	(4試合)
12 野田 祐希 (豊田合成)	24点	(5試合)	12 早川 志歩 (メイプルレッズ)	15点	(4試合)
			12 宋 海林 (メイプルレッズ)	15点	(4試合)

### フィールド得点

1 村山 裕次 (琉球コラソン)	36点	(6試合)	1 高山 智恵 (メイプルレッズ)	30点	(4試合)
2 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	34点	(6試合)	2 八十島 智美 (北國銀行)	22点	(4試合)
3 中島 晋太郎 (豊田合成)	32点	(5試合)	3 錦 織 新 (ソニーセミコンダクタ)	20点	(5試合)
4 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	31点	(5試合)	3 石井 宏実 (ソニーセミコンダクタ)	20点	(5試合)
5 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	29点	(5試合)	5 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	19点	(5試合)
6 赤塚 孝治 (北陸電力)	28点	(6試合)	6 藤井 紫緒 (オムロン)	18点	(4試合)
7 宮崎 大輔 (大崎電気)	27点	(5試合)	6 田中 美音子 (ソニーセミコンダクタ)	18点	(5試合)
8 渡部 仁 (トヨタ車体)	26点	(5試合)	8 勝連 智恵 (オムロン)	17点	(4試合)
8 切越 巧也 (北陸電力)	26点	(6試合)	8 新城 明奈 (メイプルレッズ)	17点	(4試合)
10 武田 享 (大同特殊鋼)	25点	(6試合)	8 上町 史織 (北國銀行)	17点	(4試合)
11 山原 佑太 (北陸電力)	23点	(6試合)	11 横嶋 かおる (北國銀行)	16点	(4試合)
11 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	23点	(5試合)	12 早川 志歩 (メイプルレッズ)	14点	(4試合)
11 今村 彰伸 (豊田合成)	23点	(5試合)			

### シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 渡部 仁 (トヨタ車体)	26点/ 38射 0.684	1 八十島 智美 (北國銀行)	22点/ 29射 0.759
2 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	31点/ 49射 0.633	2 錦 織 新 (ソニーセミコンダクタ)	20点/ 27射 0.741
3 切越 巧也 (北陸電力)	26点/ 43射 0.605	3 勝連 智恵 (オムロン)	17点/ 23射 0.739
4 中島 晋太郎 (豊田合成)	32点/ 54射 0.593	4 新城 明奈 (メイプルレッズ)	17点/ 25射 0.680
5 武田 享 (大同特殊鋼)	25点/ 45射 0.556	5 田中 美音子 (ソニーセミコンダクタ)	18点/ 28射 0.643
6 宮崎 大輔 (大崎電気)	27点/ 51射 0.529	5 藤井 紫緒 (オムロン)	18点/ 28射 0.643
7 村山 裕次 (琉球コラソン)	36点/ 71射 0.507	7 高山 智恵 (メイプルレッズ)	30点/ 47射 0.638
8 赤塚 孝治 (北陸電力)	28点/ 60射 0.467	8 石井 宏実 (ソニーセミコンダクタ)	20点/ 33射 0.606
9 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	34点/ 84射 0.405	9 上町 史織 (北國銀行)	17点/ 36射 0.472
10 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	29点/ 74射 0.392	10 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	19点/ 42射 0.452

### 7mスロー得点

1 樋口 睦 (湧永製薬)	9点	(5試合)	1 藤井 紫緒 (オムロン)	9点	(4試合)
2 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	8点	(6試合)	1 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	9点	(5試合)
2 東長濱 秀希 (大崎電気)	8点	(5試合)	3 上町 史織 (北國銀行)	7点	(4試合)
2 赤塚 孝治 (北陸電力)	8点	(6試合)	4 増田 寛那 (メイプルレッズ)	6点	(4試合)
5 野村 喜亮 (大同特殊鋼)	7点	(6試合)	4 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	6点	(5試合)
6 渡部 仁 (トヨタ車体)	6点	(5試合)	6 宋 海林 (メイプルレッズ)	5点	(4試合)
7 野田 祐希 (豊田合成)	5点	(5試合)	6 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	5点	(4試合)
8 崎前 健治 (トヨタ自動車東日本)	4点	(5試合)	8 新城 明奈 (メイプルレッズ)	4点	(4試合)
8 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	4点	(5試合)	9 翁長 茉莉枝 (北國銀行)	3点	(4試合)
10 東江 太輝 (湧永製薬)	3点	(5試合)	10 高山 智恵 (メイプルレッズ)	2点	(4試合)
10 柳 匠郎 (トヨタ紡織九州)	3点	(5試合)			
10 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	3点	(5試合)			
10 木切倉 真一 (トヨタ車体)	3点	(5試合)			

### シュート阻止率 (フィールドシュートを受けた数が、男子9位・女子6位以内のGKが対象)

1 甲斐 昭人 (トヨタ車体)	59本/ 139射 0.424	1 田代 ひろみ (北國銀行)	51本/ 100射 0.510
2 浦和 克行 (大崎電気)	54本/ 136射 0.397	2 藤間 かおり (オムロン)	49本/ 109射 0.450
3 石田 孝一 (琉球コラソン)	75本/ 209射 0.359	3 飛田 季実子 (ソニーセミコンダクタ)	68本/ 153射 0.444
4 久保 侑生 (大同特殊鋼)	54本/ 151射 0.358	4 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	32本/ 79射 0.405
5 志水 孝行 (湧永製薬)	56本/ 166射 0.337	5 堂面 妙子 (メイプルレッズ)	28本/ 81射 0.346
6 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	52本/ 162射 0.321	6 近藤 澄江 (H C 名古屋)	45本/ 145射 0.310
7 有江 啓 (北陸電力)	45本/ 159射 0.283		
8 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本)	68本/ 254射 0.268		
9 藤田 東吾 (豊田合成)	27本/ 110射 0.245		

### 7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 志水 孝行 (湧永製薬)	6本/ 12射 0.500	1 田口 舞 (メイプルレッズ)	3本/ 4射 0.750
1 東 佑三 (大崎電気)	3本/ 6射 0.500	2 藤間 かおり (オムロン)	5本/ 7射 0.714
3 久保 侑生 (大同特殊鋼)	3本/ 8射 0.375	3 南 裕子 (ソニーセミコンダクタ)	4本/ 7射 0.571
4 内田 武志 (琉球コラソン)	4本/ 12射 0.333	4 堂面 妙子 (メイプルレッズ)	3本/ 6射 0.500
5 廣瀬 騎優 (北陸電力)	4本/ 13射 0.308	5 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	7本/ 15射 0.467
6 藤堂 聖二 (豊田合成)	2本/ 8射 0.250	6 飛田 季実子 (ソニーセミコンダクタ)	5本/ 13射 0.385
7 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本)	2本/ 9射 0.222	7 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	4本/ 13射 0.308
8 下野 隆雄 (トヨタ紡織九州)	1本/ 5射 0.200	8 家城 千香 (H C 名古屋)	3本/ 11射 0.273

# 第 37 回 日本ハンドボールリーグ成績表

第5週第2日終了 9月30日

順位	男子	大崎電気	トヨタ車体	湧永製薬	琉球コラソン	トヨタ紡織九州	大同特殊鋼	豊田合成	北陸電力	トヨタ自動車東日本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気				34 ○ 19	34 ○ 29		38 ○ 30	38 ○ 24	41 ○ 21	5	5	0	0	10	185	123	62
2	トヨタ車体			29 ○ 26		33 ○ 27	36 ○ 24	37 ○ 30	37 ○ 27		5	5	0	0	10	172	134	38
3	湧永製薬		26 ● 29		27 ○ 25		32 ○ 27		26 ○ 22	43 ○ 26	5	4	0	1	8	154	129	25
4	琉球コラソン	19 ● 34		25 ● 27			20 ○ 19	20 △ 20	25 ● 33	37 ○ 18	6	2	1	3	5	146	151	-5
5	トヨタ紡織九州	29 ● 34	27 ● 33				21 △ 21		32 ○ 28	38 ○ 21	5	2	1	2	5	147	137	10
6	大同特殊鋼		24 ● 36	27 ● 32	19 ● 20	21 △ 21		29 ○ 24		41 ○ 22	6	2	1	3	5	161	155	6
7	豊田合成	30 ● 38	30 ● 37		20 △ 20		24 ● 29		30 ○ 24		5	1	1	3	3	134	148	-14
8	北陸電力	24 ● 38	27 ● 37	22 ● 26	33 ○ 25	28 ● 32		24 ● 30			6	1	0	5	2	158	188	-30
9	トヨタ自動車東日本	21 ● 41		26 ● 43	18 ● 37	21 ● 38	22 ● 41				5	0	0	5	0	108	200	-92

順位	女子	オムロン	北國銀行	広島メイプルレッズ*	ソニーセミコンダクタ	三重ハイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		22 ○ 18	30 ○ 18	19 ○ 15		33 ○ 16	4	4	0	0	8	104	67	37
2	北國銀行	18 ● 22			26 ○ 25	36 ○ 7	33 ○ 9	4	3	0	1	6	113	63	50
3	広島メイプルレッズ*	18 ● 30			30 ○ 26	38 ○ 17	29 ○ 14	4	3	0	1	6	115	87	28
4	ソニーセミコンダクタ	15 ● 19	25 ● 26	26 ● 30		25 ○ 16	29 ○ 17	5	2	0	3	4	120	108	12
5	三重ハイオレットアイリス		7 ● 36	17 ● 38	16 ● 25		23 ○ 16	4	1	0	3	2	63	115	-52
6	HC名古屋	16 ● 33	9 ● 33	14 ● 29	17 ● 29	16 ● 23		5	0	0	5	0	72	147	-75

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。